



令和5年度 進路だより



第2号
令和5年5月21日(日)
南風原町立南風原中学校
発行者(進路担当)小松

「県立高等学校校内推薦規定」

学級懇談会資料として県立高等学校校内推薦規定を別紙でお知らせします。進学方法の手段の1つとして参考にして下さい。尚、本規定は県立高校のものとなります。県内外の私立高校へは本規定を基準とし、進学先の高校の規定に沿って判断しています。

昨年度の推薦入試の様子

合格率	59.6%
県立推薦への出願者	62名
合格内定者	37名
出願高校	17校 23コース

全体の合格率は約60%なのですが、高校ごと、さらにコースごとには大きな違いがあり、合格100%から0%まで色々です。

希望者数の最も多かった首里高校普通科では合格率が35%低調でした。ランクB(地区大会1位、県大会ベスト4以上、各種検定の準2級)の実績で出願した生徒がほぼ合格できなかったのが理由です。

チェック!!

別紙「県立高等学校校内推薦規定」の「3 本校の推薦基準 ②」に注目下さい。

校内推薦を合格するには、高校が定めている基準を満たしている必要があります。しかし、高校ごとに微妙に違いがあります。推薦を考えている方は是非、希望高校のHPを開き、高校の定める基準をチェックしておきましょう。

ちなみに、高校ごとに微妙な違いはありますが、評定だけでみるなら、3.0以上を求める高校がほとんどです。



昨年度の首里高校推薦では、検定準2級、評定4.7で厳しい結果でした。準2級は首里高校ではBランクなのに・・・この年がAランクで申込む生徒が多かっただけなのかもしれませんがびっくりだと思いませんか？

Bランクで合格した生徒は評定が5.0の生徒と、準2級を複数の取得している生徒でした。

次年度から始まる推薦入試に 変わる特色選抜とは

令和4年度9月に発表された県立学校教育課からの公文を再度、学級懇談会の資料としてお知らせします。現時点では、裏面の資料が提供されているのみです。追加の情報が公表され次第、情報提供いたします。ここでは、裏面の資料から読み取れるポイントを紹介します。

- ☆ 出願がWebになり、生徒自ら出願することができる。
- ☆ 特色選抜のみを受検することはできず、一般選抜で学力検査を全員が受検する。
- ☆ 合格発表は特色選抜と一般選抜同日

特色選抜と一般選抜の両方に出願する際は、高校は同じでも異なっても良い。

特色選抜出願者は一般選抜とは別日に、従来あった面接・実技検査を受検する。